

公益財団法人千里リサイクルプラザ平成30年第2回理事会議事録

1. 開催日時 平成30年5月15日(火)午後2時00分から同3時00分まで
2. 開催場所 吹田商工会議所会館 2階 第1会議室
3. 理事現在数 9名
4. 理事定足数 5名
5. 出席理事数 8名
西川 俊孝 門脇 則子 山口 耕右 梶谷 尚義 小南 康隆
三田 和司 柴田 仁 土屋 正治
6. 欠席理事 安田 博明
7. 出席監事 藤原 忠 中川 孝基
8. 会議の目的事項
決議事項 第5号議案 平成29年度(2017年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件
第6号議案 平成30年度(2018年度)定時評議員会招集の件

9. 会議の概要

(1) 議長の確認

冒頭で天野美晴参事が司会となり、本日の議長は定款第37条の規定により西川俊孝理事長が務める旨を報告した。

(2) 定足数の確認

議長は本日の出席理事数が8名で定足数を満たしており、本日の理事会が有効に成立していることを報告した。

(3) 議案の審議状況及び議決結果

審議に先立ち、天野美晴参事が本年4月1日付での事務局職員の異動及び事務局嘱託職員退職に伴う補充として同じく本年4月1日付で2名を新規採用した旨を報告し、その後各議案の説明に続いた。

①第5号議案「平成29年度(2017年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告及び決算の件」

議長は第5号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、事業報告については上川善一郎主幹と安田典彦主幹が、計算書類については中島主査がそれぞれ議案書を基に順次説明した。説明が終わり、議長が質問及び意見を求めたところ、次のような質疑応答があった。

(小南理事)

学校への環境学習支援について、小学校によって10回程実施したり、また実施が皆無というところがあるのは、環境学習に対する各校の認識や考え方の違いということか。

(安田主幹)

各学校の正確な状況については言及できないが、経験的に言えばどの学校も環境教育について年間計画を策定し取り組まれている。その中で平成29年度は小学校9校からプラザに要請があり、エコクラブへ派遣し環境学習支援を行った。また他の2校からは小学4年生全体に対する学習支援要請があり実施した。プラザへの要請がない学校については、他の環境団体へ依頼されたり、校内での環境教育を進められたりしており、決して環境教育に力を入れていないということではない。

(小南理事)

最近、小学4年生の孫がくるくるプラザと資源循環エネルギーセンターを見学し、ごみの焼却場等現場作業の様子を見て楽しかったとの感想を持った。リサイクル瓶の作業なども大いに見てもらえれば良いと思う。

(梶谷理事)

長く教育に携わった身として述べると、吹田市内のすべての小学4年生がくるくるプラザと資源循環エネルギーセンターを見学することは、環境問題や、環境と自分の関わりについて考えるよい機会を与えていると思う。各学校は環境教育を重要事項として位置付け取り組んでおり、いろいろな環境団体の協力を得ながら進めている。プラザも引き続き支援を広げていって欲しい。

(西川議長)

吹田市内のすべての小学4年生は社会見学でくるくるプラザと資源循環エネルギーセンターを見学し、これとは別に各学校の要請により環境学習支援でプラザから派遣している。また環境学習発表会に参加してもらうところもある。

(柴田理事)

小さな子どもを対象とする環境教育は全国的に実施されていると思うが、横の連携や交流はされているのか。

(天野参事)

連携という点では、大学生との連携が進んで来たこと、また従来、来館数が少なかった小学4年生未満の子どもについては親子で参加できる夏休み施設見学会を開催するなどしている。

(山口専務理事)

環境啓発施設の連携についてのお尋ねかと思うが、くるくるプラザは全国で最初にできた環境啓発施設であり、その後、全国各地に同様の施設が出来たが、その数が減少しているのが現状である。一昨年の12月に環境啓発施設のあり方についての全国集会をプラザで行った。それが廃棄物資源循環学会の部会となり、年1回開催され、環境啓発が低調になっていることについての対策を検討する場になっている。子どもに対する環境教育の価値が下がっているということではなく、環境教育を深めるために、こうした集会で知恵を出し合っていかなければならないと考えている。

(土屋理事)

状況を説明すると、プラザのような環境啓発施設は、全国的には最盛期に120～130程あり、プラザにも多くの見学があった。その後、行政で分別・定時収集がきちんとなされるようになって、ごみ問題への関心は急に薄れてきた。今では環境啓発施設の役割は終わったのではないかと声もあり、あちこちの施設が廃止されるようになってきた。しかし、生活する上で当然ながらごみ問題は忘れてはならないことであり、子どもを対象とする環境教育のあり方についても、各施設の交流や意見交換は盛んになってきている。ただ、未だ決め手にかけているのが実情。環境問題は、地球温暖化防止、生物多様性、循環型社会の構築が大きな3つのターゲットになっているが、生物多様性は勉強していて楽しいこともあって、大人も子どもも関心を寄せてくれるが、地球温暖化や循環型社会(ごみ問題)は自分たちが自ら変わって対応しなければならないので、一步が踏み出しにくい。次の一手については暗中模索と言わねばならない状態にある。

(柴田理事)

環境啓発施設の発表会やイベント等で表彰する制度があってもいいのではないかと。

(土屋理事)

一般人がプラザの市民研究員としてチームを作り、研究、研鑽を積み、年間何十回と出かけて子

どもに環境啓発の授業をしているのは全国でくるくるプラザのみ。他の施設では学校に頼まれていくというもの。プラザのチームが授業しているところを一度、実際に見てもらいたい。45分の授業を全く無駄なく実施している。これは長年の成果であると自負している。他の環境啓発施設からも高く評価されており、うまく機能していると思う。目下、45分の授業時間枠を広げることはできないか思索している。

(安田主幹)

補足だが、市民研究員のチーム以外にも、昨年度は企業で働く人や学生にも出前授業に出向いてもらった。山崎製パン株式会社の製造にかかる環境問題への取組み、また大阪大学環境サークル GECS は緑化への取組み等を取り上げて授業を行った。今後ともこの方向性で拡充しながら進めていきたい。

質疑応答に続き、本議案の採決を諮ったところ、満場一致をもって第5号議案は承認可決された。

②第6号議案「平成30年度(2018年度)公益財団法人千里リサイクルプラザ定時評議員会招集の件」

議長は第6号議案を議題とし、事務局にその説明を求めたので、天野美晴参事が次のように説明した。定時評議員会を招集するため定款第18条第1項の規定により理事会の議決を求める。

開催日時 : 平成30年5月30日(水) 午前10時00分

開催場所 : 吹田市商工会議所会館 2階 第1会議室

目的である事項 : (1)平成29年度(2018年度)事業報告及び決算の件

(2)評議員1名選任の件

(3)理事2名選任の件

(4)報告事項

ア 平成29年第5回理事会決議等について

イ 平成30年第1回理事会決議等について

ウ 平成30年第2回理事会決議等について

と説明した。

説明が終わり、議長が一同に採決を諮ったところ、満場一致をもって第6号議案は原案どおり承認可決された。

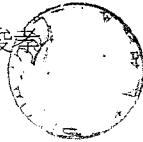
次に議長がその他報告事項としてプラザ中期計画の初年度である平成29年度の進捗状況の説明を求めた。


天野参事より、プラザ中期計画については毎年度、理事会、評議員会及びHP等で実施状況を報告する旨の説明があり、続けて上川主幹が中期計画書の体系図を元に、基本方針に基づく施策計画毎に重点取組み課題を取り上げ、具体的な取組みの進捗状況と自己評価について報告した。

報告が終わり、議長が質問及び意見を求めたが特に発言がなく、以上をもって議案の審議等を終了した。続いて、本年5月30日の定時評議員会をもって任期満了となる梶谷尚義理事が挨拶し、議長は午後3時00分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、定款第39条第2項の規定により、理事長及び監事は記名押印する。

平成30年5月15日

理事長 西川 俊泰 

監事 中川 孝基 

監事 藤原 忠 

